



発行所 東京都千代田区霞ヶ関 財務ビル内(〒100-0013) 全国税労働組合 発行人 岡田 俊明 電話(03)3581-3678 FAX(03)3507-0886 振替口座 00140-2-68514

「税務の職場」何でも110番 zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号までどうぞ)。

全国税ホームページ http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

長官交渉

互いが人格認めあう職場に 人事運用 処遇改善の熱意見えず

長官表明

が、労働時間の延長や労働密度を高めないと約束できるか。

長官 量に

いては超勤につながる話であり、できる限り

全国税は9月26日、福田新長官と交渉を行いました。冒頭、職員処遇改善に対する基本姿勢をたじた後、中高年職員処遇、「降格人事」再任用の職域拡大、下期人事・「特昇」問題、行(二)職員の処遇改善、内部事務一元化、労働強化、パワハラ根絶、超勤の大幅削減、確中期対策、労使関係の正常化を議題にその実現を迫りました。

長官は「職員一人一人が互いに人格を認め明るく風通しの良い職場づくり」を表明。また、メンタルヘルス面で意欲的な姿勢を示しました。しかし、人事運用や事務運営では、型どおりの回答、形式論を繰り返す、熱意が感じられないものでした。

基本姿勢を問う

「税制改革」に関し、企業、理解を得るようになっている。影響を与える改正には、納税義務の円滑な実現のため、適切な増員等を要請している。

長官 庁の考え方を伝

全国税 e Tax 50%達成というところもなく高いハードルが掲げ

全国税 内部事務一元化の試行等を行っている

全国税 本年4月の給与制度変更で賃金は事実上昇給停止状態にあり、中高年職員切捨てに向

査定当局の姿勢は厳しいが、上席の6級格付は機会あることに要望しており、連調官増設をはじめ署のポスト拡大に努力している。

再任用の職域拡大 全国税 再任用職員に

全国税 例え、介護のため自宅近隣署を希望する統括官に「降格希望」を出させるといような「脅しの人事」には反対であり、今後も当局の対応を注視する。

全国税 今まで労使間で積み上げたことを同じと言いつつ悪い方向で変えているではないか。

人事課長 1月昇給



新長官の基本姿勢を問う岡田委員長

見直すべきだ。

長官 過去に遡るとい

「降格人事」問題 全国税 「降格人事」が各局で広く行われており、庁が指示した結果と考える。真意を聞きたい。

長官 降任・降格は国

長官 現段階ではなかなか言えない。回答は差し控えたい。

全国税 例え、介護のため自宅近隣署を希望する統括官に「降格希望」を出させるといような「脅しの人事」には反対であり、今後も当局の対応を注視する。

全国税 例え、介護のため自宅近隣署を希望する統括官に「降格希望」を出させるといような「脅しの人事」には反対であり、今後も当局の対応を注視する。

全国税 例え、介護のため自宅近隣署を希望する統括官に「降格希望」を出させるといような「脅しの人事」には反対であり、今後も当局の対応を注視する。

全国税 例え、介護のため自宅近隣署を希望する統括官に「降格希望」を出させるといような「脅しの人事」には反対であり、今後も当局の対応を注視する。

全国税 例え、介護のため自宅近隣署を希望する統括官に「降格希望」を出させるといような「脅しの人事」には反対であり、今後も当局の対応を注視する。

全国税 例え、介護のため自宅近隣署を希望する統括官に「降格希望」を出させるといような「脅しの人事」には反対であり、今後も当局の対応を注視する。

全国税 例え、介護のため自宅近隣署を希望する統括官に「降格希望」を出させるといような「脅しの人事」には反対であり、今後も当局の対応を注視する。

長官 全く同感だ

「頑張れ」と追い討ちかけるな 「頑張るって病気になる人」に パワハラ等の禁止 全国税 セクハラ、パワハラの根絶、とりわけパワハラ問題での管理者教育を徹底して欲しい。怒鳴るといのは頻繁にあり、その結果、病気になる職員もいる。 また、パワハラで病気になる職員が職場復帰ができるために、メンタルヘルス面からの積極的対応も必要だ。 長官 職員一人ひとりがお互いに人格を認め合い、明るく風通しの良い職場づくりを強調している。そのことを管理者が理解するのが重要であり、引続き繰返していく。 全国税 上席昇任を待つ病気の職員に昇任したければ仕事しろと暴言を吐いた署長もいる。「頑張る」と追い討ちをかけることはあってはならない。 長官 指摘の後段部分は全く同感である。



全国税 下期発令にむ

全国税 質問に答えて

全国税 新制度では、

全国税 元に戻して欲しい。

長官 昇格は、限られ

全国税 人事はすべ

全国税 人事はすべ

行(二)職員の処遇問題

全国税 例えば、用務員さんは皆が快適に仕事ができるよう6時半に出勤し仕事をしてきた。これを1時間遅らせ、機械的に超勤手当を削減している。劣悪な俸給表と昇格実態の中で、採用時に超勤手当で補填する旨の約束をした経緯を考えて、適切な対応を求めたい。

放置するな「勤続14年超で1級」

必要に応じ命令により行うもので、行政(二)職員も同様だ。各署の実情を踏まえ適切に実施され、超勤縮減対策で業務を機械的に取上げるといったことは行われていないと認識している。

全国税 回答が硬い。気持ち良く働ける環境をつくるため努力している職員の生の声を聞いてもらいたい。決して、法令違反の不当な要求をしているのではなく、該当者の生活をどうするかという視点で言っている。

長官 言われたことが不当だとは全く思っていない。

全国税 東京葛飾署の用務員の中塚さんは勤続14年超で1級にすえ置かれたままだ。従来の昇格運用からも不当な扱いだ。

長官 個別の問題は答えられない。

に則り適正に実施されて

きたと認識している。

この考え方は変えてい

特昇未発令者に対し回復

措置を講じるため、来年

1月末発令者全員に特昇

相当の(5号昇給)発令

を約束してもらいたい。

効率化オンリーの「最適化計画」

職員の負担軽減掲げる

内部事務の一元化試行 人をCPに合わせる「実験」

内部事務一元化 ステムの抜本的な見直しを行い、行政の簡素化、業務効率の向上を徹底的に追求する」としている。

全国税 常々「これは人体実験だ」と言っている。従来の機械化・電算化は、日常業務の一部をコンピュータで肩代わりさせる手法で行われてきた。しかし、今回の試行は、システムの再構築を優先し、人をコンピュータに合わせるという、まさに「実験」であり、本末転倒している。

そもそも、「業務・システム職員の過重負担を軽減できないようにしたい」と思っている。

全国税 現に、試行署では来署者の対応に忙殺され、内部事務が日中できない状況にある。また、窓口担当職員には

「一人税務署」を強要する事態も進行している。

総務課長 「一人税務署」という話だが、相談が個別になった場合、担当と替わるように指示している。さらに専門的な場合は、審理担当に引き継ぐようにしている。電話については相談センターを設置してやることとしている。

全国税 従来予定されていた業務とは相当次元の異なる内容を求めるものであり、それを保障する措置が不十分すぎることも問題だ。

第一に、研修時間があまりに短かく、第二に、配転があればすべてが無に帰す可能性があり、第三に、新たな一元化部署は徴収部に属することで、配置される職員は不安がつきまとう。

長官 一定の制約条件の中で、どう最大限効果を発揮するかにかかっている。研修が必要であれば状況に応じやると思っている。

全国税 内部事務は慢性的超勤となっており、人を配置すること、また、国税庁としてノルマ主義的業務運営は行わないということではない。表やグラフ等を作成して配付し、あるいはメール配信、また、事務室へのグラフ・標語等の貼り出しなどによる職員への「尻叩き」は禁止する措置をとること。

長官 各事務系統への人員配置には、限られた人員を適切に配置していくこととしている。業務運営については、局署の実情に即して計画し、実施に当たっては弾力的に行うよう指示している。

総務課長 バッチ単位で行うことにより、名寄せの手間もなくなり、事務が削減される。KSKシステムで帳票出力もでき、検索できるようにしている(同じ回答を繰り返すかたくな姿勢に騒然となる)。

全国税 これは稀にみる愚策だ。見直しするよう指摘しておく。

全国税 現場ではプロジェクトチームが編成されるなど、確定期事務の計画策定作業が進んでいる。この中では、「巡回指導」が折込済みとして指示されている。

改めて問うが、「局署の実情に即して」というのが当局の基本スタンスではなかったのか。それがなぜ確定期には放棄され、「巡回」が強制されるのか。

長官 どう対応するかは、各局署により違うと思う。巡回指導による集合指導を原則と考えているが、各署の実情を総合的に勘案し決定するものと考へており、必ずしも一律に巡回指導による相談体制を採る必要があるとは

限らないものと考えている。署内で十分協議することで英知を集めてもらいたい。

全国税 四百人の署でも十数人の署でも一律に巡回指導という相対体制は、「立ちっ放し労働」という過酷な形態を職員に強いている。立ちっ放し労働を確定期事務から完全に排除することを求める。

(厚生労働省通達に反する)の全国税の指摘に、長官は「それは過激な発言と思う」「違反するならば重く受け止めなくてはならない、通達の項目のどこに違反するのか」と気色ばみ、お互いの主張の応酬の後)

長官 そんなに大きな認識の違いはないと思うが、通達違反と言われると目くじらが立つ。職員健康管理は十分に配慮していく。

全国税 庁の対応策は椅子と交替制しかない。

長官 休憩用の椅子を用意し、一定時間で交替してやる。チェンジャーやハイカウンターの使用など工夫も、18分

全国税 端的に言うが、日曜出勤はやめていただきたい。

長官 これを決断した当時の長官を私としては高く評価している。端的に言えば理解している。



労使関係

全国税 国税の職場に戦後労働組合ができ、その全国組織(全財)が結成されて60周年を迎える。60年を振り返ると、戦後の一時を除き、国税庁当局の労務管理、労使関係は異常なものだったことがわかる。現在の国税の労働組合の分裂は庁当局の政策として引き起こされたものだ。

この間に失ったものは大きい。国税職員の良い意味での連帯意識や正義感の後退、「寄らば大樹の陰」的意識の醸成、そして人材だ。嫌気をさし少なくない職員が職場を去った。全国税に残った職員には徹底的な差別を強いることで、当局は人材を活用し損ねた。

常軌を逸する方法で全国税からの脱退に成功したところで、その職員の中に残した傷の大きさは計り知れない。こうした負の遺産を清算すべき時期はとうに到来している。まず、全国税に対する敵対的対応策を即刻止めることだ。全国税組合員に対する人事上の差別を一切行わないことを求める。全国税組合員への処遇が見直されれば、職場全体の処遇改善の契機として、職員の活気と士気が鼓舞され、陽の当らない処遇を強いられてきた人達を励まし職場に明るさが増し、中高年職員の処遇改善策の切り札となる。

また、定年を迎える組合員に理由もなく差別を是正しないで退職を余儀なくさせるような、人道にもとる扱ひも止めるべきであることを明確に指摘しておく。

長官 国税庁として特定の職員団体を敵視したり、支配介入をしていない。今後もするつもりはない。

全国税 その明瞭な回答どおりの処遇が行われることを期待する。



敵視・支配介入するつもりない

決断せよ「負の遺産」の清算を

署の実情勘案してと言うが 再び犠牲者ださない確定期対策を 立ちっ放し労働」再考にかたくなな姿勢

超勤の大幅削減 今年の確定期は、三、四時間の超勤はザラで、内部担当では連日、深夜に及ぶという異常な実態になった。この点での抜本策を求める。

全国税 現場ではプロジェクトチームが編成されるなど、確定期事務の計画策定作業が進んでいる。この中では、「巡回指導」が折込済みとして指示されている。

改めて問うが、「局署の実情に即して」というのが当局の基本スタンスではなかったのか。それがなぜ確定期には放棄され、「巡回」が強制されるのか。

長官 どう対応するかは、各局署により違うと思う。巡回指導による集合指導を原則と考えているが、各署の実情を総合的に勘案し決定するものと考へており、必ずしも一律に巡回指導による相談体制を採る必要があるとは

限らないものと考えている。署内で十分協議することで英知を集めてもらいたい。

全国税 現場ではプロジェクトチームが編成されるなど、確定期事務の計画策定作業が進んでいる。この中では、「巡回指導」が折込済みとして指示されている。

改めて問うが、「局署の実情に即して」というのが当局の基本スタンスではなかったのか。それがなぜ確定期には放棄され、「巡回」が強制されるのか。

長官 どう対応するかは、各局署により違うと思う。巡回指導による集合指導を原則と考えているが、各署の実情を総合的に勘案し決定するものと考へており、必ずしも一律に巡回指導による相談体制を採る必要があるとは

限らないものと考えている。署内で十分協議することで英知を集めてもらいたい。

敵視・支配介入するつもりない

全国税 その明瞭な回答どおりの処遇が行われることを期待する。

長官 どう対応するかは、各局署により違うと思う。巡回指導による集合指導を原則と考えているが、各署の実情を総合的に勘案し決定するものと考へており、必ずしも一律に巡回指導による相談体制を採る必要があるとは

限らないものと考えている。署内で十分協議することで英知を集めてもらいたい。

全国税 現場ではプロジェクトチームが編成されるなど、確定期事務の計画策定作業が進んでいる。この中では、「巡回指導」が折込済みとして指示されている。



管理職悩ますPT?

【東京・京橋分会】 今事務年度、幾つもの「PT」なるものが各署で立ち上げられ、署長以下管理職を悩ませています。PTとはプロジェクトチームのこと。「確定期PT」に「e TaxPT」を加えて、「指導育成委員会」と3種類。一元化試行署では、さらに「一元化PT」がメンバーになっていて、統括官はただでさえ色々やれと言われ、さらに会合が増え大変。「PT」

9月から札幌北署と釧路署で「内部事務一元化の実施に向けた試行」が始まっています。試行は職員の多大な犠牲の上で行われ、空中分解しても...

研修が不十分なため、窓口や電話での相談に答えられないことも多く、「本当に税務職員なの?」と疑われる「あなたでは話にならない」と叱られるのも当然。こうした仕事のやらせ方はすべきではありません。

も局署の実情に応じてなる。

日曜開庁問題

全国税 端的に言うが、日曜出勤はやめていただきたい。

長官 これを決断した当時の長官を私としては高く評価している。端的に言えば理解している。